

容器文化ミュージアムのご紹介

第 283 回液体クロマトグラフィー研究懇談会 オーガナイザー 細野寛子
(東洋製罐グループホールディングス(株))

いつの時代も人の暮らしを便利で豊かなものとするために、考え、作られ、利用されてきた容器包装。

容器文化ミュージアムは、容器包装の中にかくれているさまざまな秘密を「ひらく」施設です。文明の誕生と容器の関わりから、最新の容器包装まで、その歴史や技術、工夫をご覧ください。ここは、容器包装の文化を発信するミュージアムです。



約 100 年前の自動製缶機や明治時代からの缶詰ラベルなどの貴重なコレクションもありますので、興味深い容器の世界をのぞいてみてください。

常設展の他に夏休みのイベントとして容器を使った工作展や、「災害対策 容器と備蓄」というテーマで保存食や非常食をご紹介しますり、「ホームパーティーと容器のいろいろ」でパーティーでの容器のなるほどなという使い方をご紹介します企画展なども開催してきました。JR 東日本で行っているスマートフォンを使ったウォークラリー「えきぼ」で、大崎駅からの大人の社会見学コースにも入っています。



約 100 年前の自動製缶機



夏休みイベント風景